

# 第32回 未来医療セミナー

## 厚生労働省のイノベーション施策と再生医療

厚生労働省医政局研究開発振興課

ヒト幹細胞臨床研究対策専門官

松山晃文 先生

### 《要旨》

臨床研究は、医療分野のイノベーションを社会還元するために必要不可欠であり、新医薬品・医療機器等の実用化を加速するため、一層の推進に努めなければならない。しかしながら、国際的に見た我が国の臨床研究の水準は、基礎研究分野に比較して必ずしも十分とは言えない状況である。このような状況に鑑み、厚生労働省は、文部科学省・経済産業省と連携して、「革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」(平成19年4月26日)を策定したところである。

本5か年戦略においては、従来型の医薬品・医療機器等に加え、再生医療へも力強い言及をしている。例示すれば、

#### (1) 医薬品・医療機器開発につながる予算への重点化・拡充等

ライフサイエンス関連予算の中で医薬品・医療機器開発分野へ重点化・拡充するとともに、特にバイオマーカー、テーラーメイド医療、再生医療、マイクロドーズ等といった新たな技術領域の重視。

#### (2) ベンチャー企業支援策の検討の場の設置

再生医療技術を含む革新的創薬・医療機器において重要な役割を担うベンチャーの育成について、関係省、研究機関及び産業界と連携して支援策の検討を行う場を設置。

#### (3) 再生医療を推進するための拠点の整備

日本の技術が世界をリードしている分野であり、この分野の研究者の裾野を広げ、より競争的な実用化研究の環境を提供するための取組を開始。

である。

本セミナーにおいては、厚生労働省のイノベーション施策を俯瞰するとともに、再生医療にかかる行政施策に関しご紹介したい。

日時：2007年8月20日(月) 18:00より

場所：大阪大学医学部附属病院外来棟4階 第1カンファレンス室

連絡先：未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557/6552, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協賛：21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-